

石川県 防災・国土強靱化分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

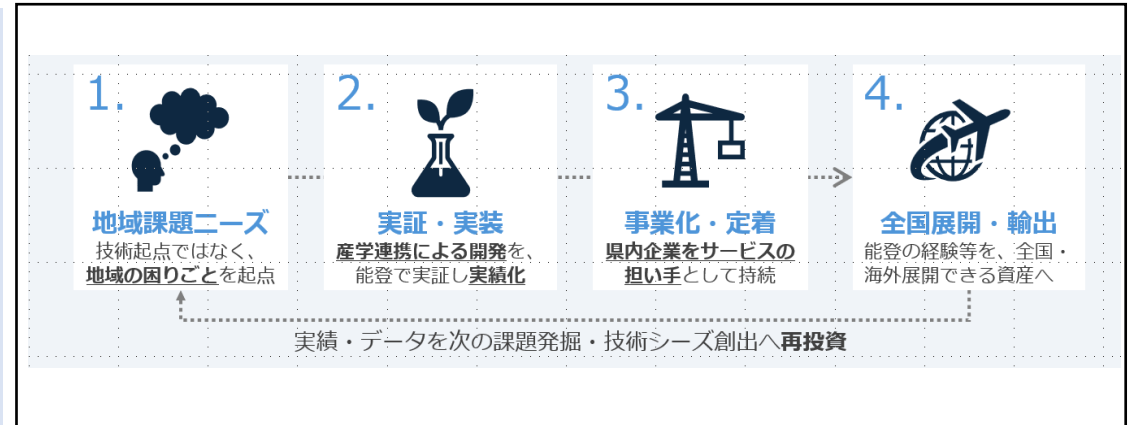
新素材技術・次世代インフラ・防災DXを核とする防災・国土強靱化産業領域

【該当する業種】製造業、建設業、情報通信業、技術サービス業等への波及効果を有する裾野の広い産業領域

【特定の理由】能登の実証フィールドに加え、産学連携基盤、モノづくり・IT企業の集積を活かした、防災・国土強靱化に資する新技術・新サービスの継続的な創出が見込まれるため

2. 対象エリア

県内全域（特に内灘以北の能登地域）



3. 目指す姿（目標）

（１）現状の整理

- ・国土強靱化計画による大型投資などにより、今後も市場拡大が期待されている
- ・また、人口減少とインフラ老朽化の同時進行により、省人化・遠隔化・自動化を実現する新技術・サービスへの需要が高まっている
- ・本県は、産学連携基盤を有し、繊維、機械、建設、ITなどの関連産業も集積している

（２）目指すべき目標

- ・民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
 - ・付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
 - ・産業人材育成数 約1.4万人(精査中)
- ※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

- ① 新素材（炭素繊維等）技術の量産・標準化による耐震部材のサプライヤー化
- ② 能登の実装実績を基にした次世代インフラ施工・維持管理サービスの確立
- ③ 能登の地域課題×DXによる課題解決型サービスの創出

（2）目指すべき姿

地域課題を起点に新素材・次世代インフラ・防災DX等の技術・サービスを継続的に創出することで、技術・人材・データ・収益・投資が循環する防災・国土強靱化産業クラスターを確立

5. 政策手段

（1）取り組みに向けた課題

- ・地域課題と研究開発の接続
- ・新技術の実証機会の創出と事業化・定着
- ・専門人材の確保・育成、販路開拓

（2）講じるべき政策パッケージ

- ・地域課題の収集・発信、産学官マッチング基盤の構築
- ・建設新技術の活用促進、公共事業での新技術の活用フィールドの提供、無人化施工による試行工事の実施
- ・実証案件への県内企業の参画促進、事業化伴走・人材育成支援
- ・販路開拓・ネットワーク形成支援
- ・ICT施工の展開、遠隔施工による省人化支援
- ・オープンデータの拡充 など